

寺報

龍正寺

日なた 131号

心

日延



<平成31年4月>

宝龍会
護持会



まだ寒さ残る3月
春季彼岸会が龍正寺
にて開催されました



ご先祖様に感謝を
込めて。

本堂に皆の気持ちが揃った
太鼓が響き渡りました。



法要後、お供えの団子で
茶話会です。

任職一言 (開闢20周年)

ひとつの時代が終ろうとしています、また日本の社会は新しい芽が出る時です。

龍正寺は寺号公称して認可されたのが平成11年4月15日です、開闢20年になります。

龍正教会から龍正寺になるまでに、色々な方々の大きな御協力をいただきました。

寺院にあってから一人二人と御奉仕を毎日して下さる方々と、御茶を飲みながら雑談をしてきました、その中から御奉仕後勉強会をしたかどうかになり、平成14年4月15日に有志の皆様で龍正寺宝龍会を設立しました、奉仕活動、勉強会をしたがら布教活動、17年になり、後には日なたを発行し11年になろうとしています。

また平成17年4月15日龍正寺護持会が発足して14年になります、発足にいたるまで色々な事がありました、当時役員の方々の御苦勞もたくさんありましたが、役員の方々の絶大な御協力の元設立し発足し今日にいたっております、これも役員の方初め檀信徒の方々の協力があって護

持会がたりたす、寺院を運営していくことが出来ます。
開闢20年を記念し祖山(總本山身延山久遠寺)に御参す
る事を計画しています、檀信徒の皆様への御協力をお願い
いたします。

龍正寺では、これからも皆様様の偉せと家門の隆昌、
社会の平和安穩を願ひながら、布教活動に専念して
いける事を仏祖三尊に祈念いたしたいと思つて
あります。

偉せを導く風雲山龍正寺です。

合掌

報恩感謝謝徳、朝に合掌、夕に合掌
南無妙法蓮華經

龍正寺

— 娘の - 灯 —

春のお彼岸も終わり、吹く風も温かくなつて
きましたね。

彼岸会前に、娘とお墓参りに行かせてもらい
ました。我が家のお墓は南向きに一基と
東向きに一基建つています。周りは田畑が
多いので、北風が強い日は、東向きのお墓の
ろうそくはすぐに消えてしまいます。その日も、少し
風が吹いていました。娘がろうそくに火をつけて
くれましたが、やっぱりなかなかつかず、私は
「すぐ消えちゃうから、いいよ」と伝えましたが、
娘は一所懸命チャレンジしてくれました。
二基ともお火がつき、お参りさせていただけま
した。ついても、お参り中にはほぼ消えてしまう
東向きのろうそくが、ずっとついたのでした。娘の
気持ちや伝え、たんとたあとお喜しく思い、お上
人様にその出来事をお話しすると、こんな話を

教えて頂きました。

お金のない老婆が、お釈迦様の説法を聞くために、自分の髪を売って、油にかえ、お供えしたところ、突然、台風のような風が吹き、無数にあつた灯火が一斉に消えてしまつた。しかし、その老婆の灯火だけが消えずに残つた。老婆さんの気持ち様が仏様に伝わつたのと同じように、娘の気持ちも伝わつたんだと。

私は自宅に戻り、このお話について調べました。これは「貧女の一灯」というお話で、老婆の髪では火を灯すのもや、との少量の油しか買えなかつた事や。この様子について、お釈迦様は『見栄や執着は自身をまぶしく照らすこともあるが、一瞬で消えてしまふ弱さも持ち合わせている。一方、素直に恩に報いようとする者には永遠に消えることの無い生命の明かりが宿り正しい道を照らす』と諭されたことを知りました。

娘のお陰でとてもいい勉強をさせて頂くことが出来ました。

お寺との御縁 ~真実の俤せ~

四月で宝雲山 龍正寺開闢 20周年を迎えます。

我が家の御縁の始まりは、お寺がまた教会の頃に知人の紹介で登山したのがきっかけでした。

何か事柄があつたために、幼い我が子を自転車の前と後ろに乗せてお参りさせて頂きました。そして御住職に話しを聞いて頂くうちに、心が少しづつ楽になりました。

今ではその子供達が、当時の私のように、子供達(孫)を連れてお寺へ参拝しています。お寺は我が家族には、なくてはならない心の寄りどころです。

孫達と本堂で親子三世代が、御題目を唱えさせて頂ける事に心より感謝しております。

また、この20周年の間には、お寺を通じて色々な方々との出会い・離れがありました。それは、人生の大きな学びにもなりました。時には理不尽な出来事も多くありましたか、宗祖日蓮大聖人のお教え・法華經の学びが、心の中の葛藤をゆっくり静めて頂きました。それは自分の心を押え込むのではなく、心穏やかに理解・納得できるものでした。

すると自分自身が、どうして腹かたないのか？と驚く事もよくありました。

毎日の日参の中で御題目・神仏・諸天神様への報恩感謝をする事で、心は静かに、穏やかに整えて頂けた様に思います。

辛い・悲しい事の中に大きな学びがある。

時にはその出来事が、自分自身の捉え方・考え方を大きく変化させます。悲しみ・苦しみから希望・勇気に変化していく。

それは喜び俵せと形を変えていく。その為の大きいなる知恵こそが、法華経のお教えだと思っています。

先程も大変悲しい出来事がありました。自分か、これほど悲し
みを感じている事に、困惑する状態でした。しかし、その事で自分
の人生の見直しが出来ました。そして前を見て、明るく進む力を
勇気も得る事が出来ました。五月より元号は「令和」となります。
これから新たな気持ちで、どのような時も、家族で御題目を唱え
て行きたいと思っています。き、と大難は小難。小難は無難となる事で
しょう。子供や孫達がいつまでもこの龍正寺で、御題目を唱え
れる様に寺門繁盛をお祈りします。

< 4月の行事予定 >

4月8日(月) 10:00~ 釋尊降誕会
宗祖日蓮大聖人報恩会
立教開宗会

4月21日(日) 13:00~ 大祈禱会
(終了後檀信徒総会)

< 4月住職予定 >

4月16日(火) 11:00~ 赤坂妙法寺
(大垣)

4月22日(月)~23日(火) 再々行会研修会(下呂)

< 4月の予定 >

4月1日(月)	各々の時間で	清掃準備
↓	↓	↓
7日(日)		
8日(月)	法要後	片付け準備
9日(火)	各々の時間で	清掃準備
↓	↓	↓
19日(金)		
20日(土)	10:00~	飾り付け